



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月10日

上場会社名 株式会社ゲームカード・ジョイコホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 6249 URL <https://www.gamecard-joyco.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 石橋 保彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長兼IR課長 (氏名) 藪中 潔 (TEL) 03-5214-4777  
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	4,747	△23.9	680	61.5	695	59.4	383	52.0
28年3月期第1四半期	6,234	1.8	421	△29.9	435	△29.3	252	△28.3

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 352百万円(38.7%) 28年3月期第1四半期 253百万円(△21.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	26.91	—
28年3月期第1四半期	17.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	51,274	38,210	74.5
28年3月期	54,781	38,285	69.9

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 38,210百万円 28年3月期 38,285百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,800	△8.7	170	—	170	—	△60	—	△4.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料4ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	14,263,000株	28年3月期	14,263,000株
29年3月期1Q	121株	28年3月期	121株
29年3月期1Q	14,262,879株	28年3月期1Q	14,262,879株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点におきまして、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済環境は、大企業を中心とした企業業績の向上や雇用情勢の改善が見られるなど、緩やかな回復基調で推移したものの、一方では、中国経済の減速や原油価格の下落等による新興国の景気の下振れ懸念、地政学的リスクによる世界経済の混乱懸念に加え、昨今の円高・株安基調、個人消費の弱含み推移など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの販売先であるパチンコ業界においては、娯楽の多様化等によるパチンコ・パチスロ人気の低迷、低玉貸し営業の定着、消費税増税への対応、新たな遊技機規制による高射幸性機種への入れ替え等により、パチンコホールの経営環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、パチンコホールでは、ローコスト・オペレーションへの取り組みを強め、新規出店やリニューアルを含めた設備投資に対して慎重な姿勢を示し、とりわけ当社グループが手掛ける周辺設備への投資は極めて低調であり、市場環境は益々厳しい状況となっております。

当社グループでは、消費税対応や様々な情報提供サービスが可能となり、市場から高い評価を獲得している主要商品「G∞WIN'Z (ジーウインズ)」を武器に、コスト低減化に繋がる各台計数システムへの切り替え提案を積極的に行い、需要の掘り起こしを行い拡販を図ってまいりました。

しかしながら、厳しい市場環境のもと機器販売台数は、前年同四半期を大きく下回り、また、パチンコホールの閉店・廃業等による歯止めの掛からない市場規模の縮小、熾烈な価格競争による販売価格の低下に伴い、機器売上高、カード収入高及びシステム使用料収入について、売上高・売上総利益とも、前年同四半期を下回る結果となりました。

このような厳しい状況を克服するためには、市場が縮小局面にあっても着実に収益を確保できる経営基盤の再構築が必要であると認識し、各種の構造改革による業務効率化と、時間と費用を掛けない開発体制の構築による原価コスト、販売費及び一般管理費の削減と共に、遊技業界の活性化に貢献し市場から支持される商品・サービスの開発に取り組んでおります。

以上のことから、当第1四半期連結累計期間における売上高は4,747百万円（前年同四半期比23.9%減）、営業利益は680百万円（同61.5%増）、経常利益は695百万円（同59.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は383百万円（同52.0%増）となりました。

販売品目別の業績概況は、次のとおりであります。

機器売上高は、1,627百万円（前年同四半期比42.8%減）となりました。

カード収入高は、923百万円（同7.8%減）となりました。

システム使用料収入は、2,081百万円（同8.1%減）となりました。

その他の収入は、114百万円（同6.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は51,274百万円となり、前連結会計年度末と比較し3,507百万円減少いたしました。

これは主に、流動資産のその他（主に供託金）が780百万円、無形固定資産のその他（主にソフトウェア仮勘定）が1,375百万円増加した一方で、現金及び預金が3,551百万円、受取手形及び売掛金が946百万円、有価証券が1,000百万円減少したことによるものであります。

(負債)

負債合計は13,064百万円となり、前連結会計年度末と比較し3,431百万円減少いたしました。

これは主に、支払手形及び買掛金が1,024百万円、流動負債のその他（主に未払金）が2,332百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産合計は38,210百万円となり、前連結会計年度末と比較し75百万円減少いたしました。

減少要因は、利益剰余金が44百万円、その他有価証券評価差額金が31百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月12日付「平成28年3月期 決算短信」にて公表いたしました通期の連結業績予想につきましては、現時点において変更しておりません。今後、修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純損益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,530	9,979
受取手形及び売掛金	2,652	1,705
営業未収入金	714	661
有価証券	11,999	10,999
発行保証金信託	7,188	7,192
商品及び製品	1,974	1,952
原材料及び貯蔵品	540	584
その他	5,338	6,118
貸倒引当金	△5	△6
流動資産合計	43,934	39,187
固定資産		
有形固定資産	776	715
無形固定資産		
その他	2,226	3,602
無形固定資産合計	2,226	3,602
投資その他の資産		
投資有価証券	5,714	5,654
その他	2,334	2,306
貸倒引当金	△205	△191
投資その他の資産合計	7,844	7,768
固定資産合計	10,847	12,086
資産合計	54,781	51,274
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,402	1,378
営業未払金	14	15
未払法人税等	22	338
引当金	283	330
カード未精算勘定	2,530	2,493
その他	5,109	2,776
流動負債合計	10,363	7,333
固定負債		
引当金	110	86
退職給付に係る負債	481	500
その他	5,540	5,144
固定負債合計	6,132	5,730
負債合計	16,496	13,064

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,500	5,500
資本剰余金	5,122	5,122
利益剰余金	27,608	27,563
自己株式	△0	△0
株主資本合計	38,230	38,186
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	55	23
その他の包括利益累計額合計	55	23
純資産合計	38,285	38,210
負債純資産合計	54,781	51,274



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	6,234	4,747
売上原価	3,964	2,565
売上総利益	2,270	2,182
販売費及び一般管理費	1,849	1,501
営業利益	421	680
営業外収益		
受取利息	5	4
受取配当金	7	8
貸倒引当金戻入額	5	7
その他	16	11
営業外収益合計	35	32
営業外費用		
支払利息	7	5
支払保証料	11	10
その他	2	2
営業外費用合計	21	18
経常利益	435	695
税金等調整前四半期純利益	435	695
法人税等	183	311
四半期純利益	252	383
親会社株主に帰属する四半期純利益	252	383

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	252	383
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	△31
その他の包括利益合計	1	△31
四半期包括利益	253	352
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	253	352

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。